

週間感染症情報

2017年1週 2017年1月2日より2017年1月8日まで

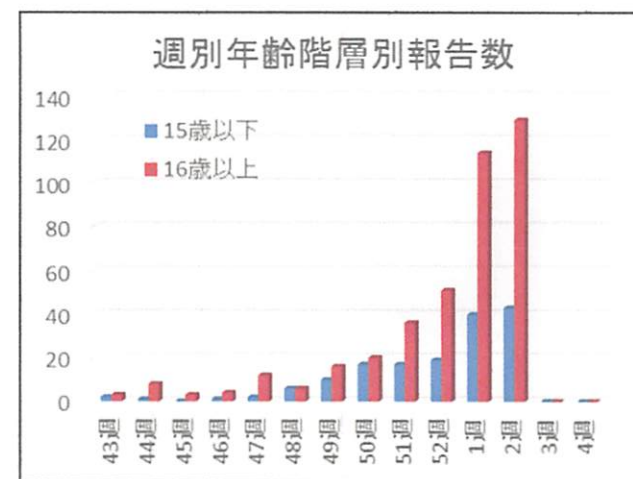
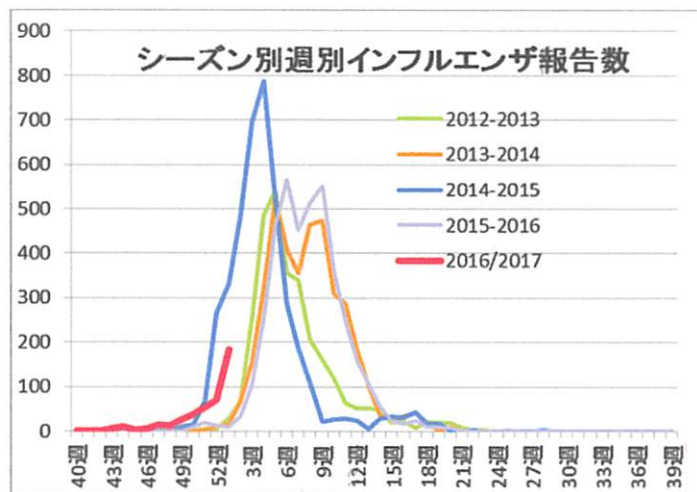
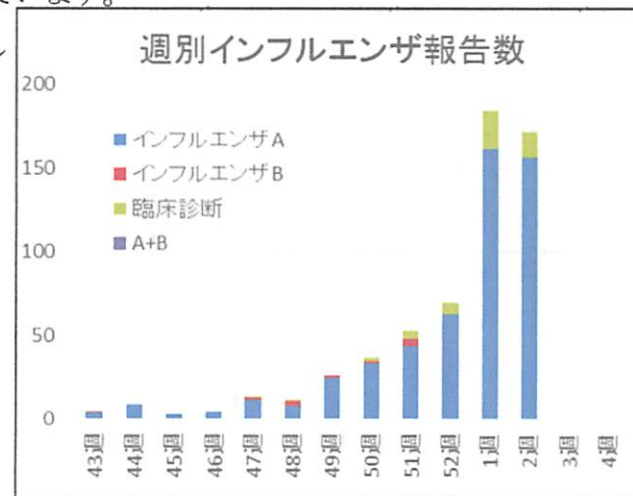
麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	3
ムンプス(おたふくかぜ)	1
百日咳	
溶連菌感染症	6
手足口病	
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	51
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	
伝染性膿痂疹(とびひ)	3
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	5
マイコプラズマ感染症	1
インフルエンザ(臨床診断含む)	184
インフルエンザA	161
インフルエンザB	
A+B	

年始は、内科の患者さんが多く、小児科はヒマでした。インフルエンザAの報告が急激に増加して、地域内の流行になっています。また、3学期が始まり、教育委員会からの報告も増加しています。

今週(第2週)の報告数は、13日(金)の時点で、A型 172例、B型 なし 臨床診断 16例 の合計172例でした。第1週は184例でしたので、週末で200例は超えると思います。週の後半になり、小児のクラス内感染と思われる報告も見られるようになりました。

インフルエンザでも、軽症の場合は微熱で、いわゆる「かぜ」ですむ事もあります。周囲に感染を拡大しないよう、咳エチケット、マスクの着用、無理せず休むなど、感染予防に努めて下さい。

感染性胃腸炎は減少しました。カンピロバクター、病原性大腸菌など細菌性胃腸炎の報告が2例ありました。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)